

【滋賀の素材・魅力磨き上げプロジェクト】 「ビワイチ」による持続的な地域の活性化

【参考資料3】



取組の概要

これまでの官民様々な主体の取組とサイクリング業界の盛り上がり相俟って、「ビワイチ」推進の機運が高まっており、県庁内にビワイチ推進室を設置(H29.4)し一体的な取組を推進する。また、ビワイチ推進総合計画の策定による県、市町、事業者、地域等が一体となった自立的な「ビワイチ」推進体制を構築し、「ビワイチ」による持続的な地域の活性化を実現する。



特徴的な取組

① 推進体制の整備

- ・走行環境整備、交通システム整備、観光施策を一体的に推進するため県庁内に「ビワイチ推進室」を設置(H29.4)
- ・ビワイチ推進総合計画の策定(H29)



② ビワイチ観光推進事業

- ・「ビワイチ」レンタサイクル拠点の整備促進
- ・サイクルサポートステーション(CSST)の整備
 - 空気入れや自転車用工具、トイレの貸出し等を行う拠点を整備(H28:132ヶ所、H29:200ヶ所予定)
- ・ぐるっとびわ湖サイクリングマップ刷新、「プラスルート」の設定による各地への誘客強化
- ・サイクルツアーガイドの養成
- ・湖上交通やサイクルトレインなどを活用したショートビワイチの提案
- ・情報発信 → サイクリング系広報媒体による発信、サイクルイベント出展、国内外のキーパーソン招請による発信

③ 自転車走行空間整備事業

- ・走行環境整備・路面標示(矢羽根、ブルーライン)によるルート案内(H28:25km、H29:約20km)
- ・路肩拡幅等により走行空間確保(H29:3ヶ所の工事着手)

④ 安全・安心な自転車利用に向けた取組

- ・安全利用啓発(サイクリスト、CSST、自動車、ガイド)
- ・安全・安心な自転車利用環境構築に向けた研究、レンタサイクル利便性向上検討



レンタサイクル拠点の整備
(米原駅サイクルステーション)

サイクルサポート
ステーションの整備



湖上交通の活用



自転車走行空間整備
(矢羽根による路面標示)



サイクリストへの安全指導

活用した国の支援

- ・地方創生加速化交付金(H27国補正)、地方創生推進交付金(H29国当初)、地方創生拠点整備交付金の活用。